

## リスク管理債権情報

### <貸付金> (単位:千円)

区 分	平成16年度
破綻先債権額(A)	496,920
延滞債権額(B)	3,070,352
3ヶ月以上延滞債権額(C)	247,571
貸出条件緩和債権額(D)	1,303,014
合計(E)=(A)+(B)+(C)+(D)	5,117,858
貸付残高(F)	11,663,730
比率(E) / (F) × 100	43.88%

(注)単位未満を切り捨ててあるので、合計は端数において一致しません。

### <保証債務> (単位:千円)

区 分	平成16年度
破綻先債権額(A)	527,941
延滞債権額(B)	825,062
3ヶ月以上延滞債権額(C)	173,090
貸出条件緩和債権額(D)	470,552
合計(E)=(A)+(B)+(C)+(D)	1,996,645
保証債務残高(F)	13,117,318
比率(E) / (F) × 100	15.22%

(注)単位未満を切り捨ててあるので、合計は端数において一致しません。

### <求償権> (単位:千円)

区 分	平成16年度
破綻先債権額(A)	1,442,257
延滞債権額(B)	1,728,032
3ヶ月以上延滞債権額(C)	0
貸出条件緩和債権額(D)	0
合計(E)=(A)+(B)+(C)+(D)	3,170,290
求償権残高(F)	3,170,290
比率(E) / (F) × 100	100.00%

(注)単位未満を切り捨ててあるので、合計は端数において一致しません。

破 綻 先 債 権 額 (A) 会社更生、破産、民事再生手続開始、整理又は特別清算の申立てにかかると貸付の元金残高額。

延 滞 債 権 額 (B) 自己査定における破綻懸念先と実質破綻先の元金残高額。

3ヶ月以上延滞債権額 (C) 弁済期限を3箇月以上経過して延滞となっている貸付の元金残高で、破綻先債権額及び延滞債権額に該当しないもの。

貸 出 条 件 緩 和 債 権 額 (D) 債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として元本の返済方法の変更及び貸付期間の延長の措置を図った貸付先の元金残高で、破綻先債権額、延滞債権額及び3ヶ月以上延滞債権額に該当しないもの。